

2023 年度 4 月入学

Academic Year 2023, April Enrollment

名古屋大学大学院生命農学研究科

博士前期課程

外国人留学生募集要項

Guidelines for Admission of the Foreign Students  
to the Master's Program

名古屋大学大学院生命農学研究科

Graduate School of Bioagricultural Sciences

Nagoya University

本研究科では 2022 年度に実施する入学試験からインターネット出願を開始します。出願に必要なパソコンやプリンター等の機器，メールアドレス，顔写真データ，支払方法，提出書類等を確認してから出願してください。また出願前には，マイページ登録が必要です。時間には余裕を持って出願を行ってください。なお，インターネット出願時に登録されたメールアドレスには，大学から入学試験に関する重要なお知らせが配信されますので，変更や削除の可能性がなく，日常的に確認できるメールアドレスを準備してください。

Starting in AY 2022, the Graduate School of Bioagricultural Sciences will begin accepting online applications. Please prepare all items required for the online application, devices such as a computer connected to the internet and a printer, an email address, a portrait photo, and submit your application after confirming the payment method, documents to be submitted, etc.

Note that you will need to register for an account before applying, so ensure you have enough time to complete the application process. Important information about the examination and other related issues may be sent by the University to your registered e-mail address. Therefore, please use an e-mail address that you check on a regular basis and has little chance to be changed or deleted.

## 名古屋大学大学院生命農学研究科のアドミッション・ポリシー

### (1) 入学者受入れの方針

生命農学を探究するために必要な学力を有し、高い専門性を持った指導者や技術者として、知識と能力を社会に役立てようという志をもつ国内外の人材を求めています。

### (2) 選抜の基本方針

生命農学関連専門科目の知識・理解力と論理的思考力・応用力」を学力検査によって、「英語能力」を外部試験成績によって評価します。また、「志望する研究分野に対する明瞭な志向と勉学の熱意」および「その分野に関連する基本的な知識と理解力」を面接・口述試験によって評価し、入学者を選抜します。

### 個人情報の取り扱いについて

出願にあたって提供された住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学選抜、合格発表、入学手続及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うためのみに利用します。また、取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に使用いたしません。

### Treatment of information on individuals (at Nagoya University)

Any information regarding individuals which has been obtained from application documents, shall be used for the purposes of notifications concerning the application in hand, entrance examinations, announcements of results of entrance examinations, enrollment procedures and any other items subsidiary to these situations. It will also be used for the administration of the school register and for academic records connected with student academic affairs after enrollment. Furthermore, any information obtained concerning individuals will be treated appropriately, and shall never be used for any reason other than its administrative purpose.

### ※不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、次のホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

- ◇ 生命農学研究科受験生向けホームページ

URL <https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/jukensei/index.html>

- ◇ 連絡窓口

名古屋大学農学部・生命農学研究科 教務学生係

TEL 052-789-4299・4010



### < Changes in examination schedule and procedures due to unforeseen circumstances >

The examination schedule and selection measures may be modified in the event of an outbreak of infectious disease or other unforeseen circumstances. Please check the website regularly for the latest notices, especially in the days preceding the application and examination periods.

- Website of Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University  
(Admission Information)

<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/english/admission/index.html>

- Contact info:

Student Affairs Section, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University

Tel (052)789-4967 (English) ,789-4299 (Japanese)



## 1. 出願資格

次の(1)～(10)のいずれかの条件を満たす者

(本研究科入学時まで、(1)～(10)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む)

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者
- (8) 旧制学校等を修了した者
- (9) 外国において学校教育における15年の課程若しくは我が国において外国の大学の課程（その修了者が学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

**(注) 出願資格(9)により出願する者は、あらかじめ本研究科教務学生係へ照会し、所定用紙を2022年10月7日(金)までに(郵送の場合は16時必着で)提出してください。**

- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた22歳以上の者

**(注) 出願資格(10)により出願する者は、15ページの「出願資格(10)による出願について」を参照してください。**

## 2. 募集人員 若干名

## 3. 専攻及び研究室（ただし、募集を予定している研究室のみ）

専攻	研究室
森林・環境資源科学	土壌圏物質循環学 植物土壌システム 森林水文・砂防学 森林生態学 森林保護学 森林資源管理学 森林社会共生学 森林化学 循環資源利用学 木材物理学 木材工学 生物システム工学
植物生産科学	植物生理形態学 植物遺伝育種学 作物科学 園芸科学 植物病理学 植物免疫学 耕地情報利用 食料経済学 植物遺伝子機能 発生学・システム植物学 植物ゲノム育種 生物産業創出 熱帯生物資源 生物遺伝情報 実践アフリカ開発 実践アジア開発 植物エピジェネティクス
動物科学	動物遺伝育種学 ゲノム・エピゲノムダイナミクス 動物形態学 動物統合生理学 動物生殖科学 動物栄養科学 動物生産科学 鳥類バイオサイエンス 水圏動物学 資源昆虫学 害虫制御学

応用生命科学	生物有機化学 生物活性分子 天然物ケミカルバイオロジー 高分子生物材料化学 食品機能化学 応用酵素学 分子生物学 分子細胞制御学 分子生体制御学 糖鎖生命科学 動物細胞機能 動物細胞生理学 栄養生化学 土壌生物化学 応用微生物学 植物情報分子 生物化学 ゲノム情報機能学 植物細胞機能 植物統合生理学
--------	--

#### 4. 志望専攻及び研究室について

志望専攻・研究室は、「3. 専攻及び研究室」から選択してください。（「研究内容及び教員一覧」も併せて参照してください。）

なお、第2志望の専攻・研究室はいずれの専攻・研究室を選んでも構いません。

#### 5. 出願書類

提出書類	
(1) 名古屋大学大学院 志願票及び写真票	<p>〔インターネット出願システムから出力されたものを、A4サイズで片面カラー印刷してください。〕</p> <p>* 出願前3か月以内に撮影した正面向き、上半身、無帽、背景なしの顔写真データを用意し、インターネット出願システムからアップロードしてください。</p>
(2) 名古屋大学大学院生命農学研究科志願票	<p>本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、作成してください。</p>
(3) 履歴書（外国人用）	<p>日本国籍を有しない者のみ提出してください。ただし、日本の大学を卒業または卒業見込みの者は提出不要です。</p> <p>本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、作成してください。</p>
(4) 成績証明書	<p>学部（教養課程を含む）の成績を証明するもの</p> <p>* 日本語あるいは英語で書かれていない場合は、英訳版を添付してください。</p>
(5) 学位証明書（卒業証明書あるいは卒業見込証明書）	<p>学士の学位を取得した大学の卒業（見込）を証明するもの</p> <p><b>* 中国の大学を卒業した者が出願する際の注意事項</b></p> <p>中国の大学卒業者は、中国政府機関直轄の財団である『中国教育部学位与研究生教育发展中心（CDGDC）』から発行される認証書「认证报告」を印刷し、他の出願書類とともに提出してください。</p> <p>認証書発行に関する手続きの詳細については CDGDC のホームページ (<a href="http://www.cdgdc.edu.cn">http://www.cdgdc.edu.cn</a>) で確認してください。発行に時間がかかるため、手続きは早めに行ってください。</p>
(6) TOEFL または TOEIC のスコアシート	<p>「9. 考査実施方法」の「(3) 外国語（英語）試験におけるスコアシートの提出」の指示に従って提出してください。</p>
(7) 在留カードの写し（両面）	<p>日本国籍を有しない者のみ提出してください。ただし、日本国永住許可を得ている者は不要です。</p>

(8) 類型該当性の自己申告書*	<p>本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、作成してください。本様式の自己申告で類型に該当する方は、以下の資料を併せて提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国政府・企業等の機関に雇用されている者：雇用証明書</li> <li>・外国政府・企業等の機関から個人として受けとる研究資金や奨学金がある場合：その金額と提供元を示す給付予定通知書</li> </ul>
------------------	--

\* 「(8) 類型該当性の自己申告書」の提出について

経済産業省は2021年11月、「外国為替及び外国貿易法」（以下、外為法）に基づく「みなし輸出」管理の明確化を実施し、法令改正を行いました。

これによって大学における学生への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となることがあり、外国政府や外国の法人等の著しい影響下にある外国人、および邦人であっても外国政府等の強い影響下にある場合には、輸出許可申請が必要となります。

1) 大学院への出願時に「類型該当性の自己申告書」（様式1）を提出してください。

なお、様式1の自己申告で類型に該当する方は、以下の資料を併せて提出してください。

- ・外国政府・企業等の機関に雇用されている者：雇用証明書
- ・外国政府・企業等の機関から個人として受けとる研究資金や奨学金がある場合：奨学金の受給通知もしくは申請書など

2) 大学院入試合格時に「誓約書」を提出していただきます。

## 6. 出願期間及び出願手続

### 郵送の場合

2022年11月22日（火）から11月25日（金）（最終日消印有効）

出願書類を郵送する場合は、インターネット出願システムから出力される「出願用宛名用紙」をカラーで印刷し封筒に貼りつけて、書留郵便で出願期間内（最終日消印有効）に送付してください。また、「6. 出願書類」に不備がある場合、受理しません。

出願書類の郵送先 〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学農学部・生命農学研究科 教務学生係

### 窓口持参の場合

2022年11月22日（火）から11月25日（金）

受付時間：午前9時から午前11時30分まで、午後1時30分から午後4時まで

出願書類は受付時間内（11月25日（金）午後4時まで）に農学部・生命農学研究科 教務学生係に持参してください。出願書類を封筒に封入する必要はありません。なお、「6. 出願書類」に不備がある場合、受理しません。

出願書類の持参先 〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学農学部・生命農学研究科 教務学生係

## インターネット出願手続期間

2022年11月8日（火）から11月25日（金）午後3時まで

出願手続は、インターネット出願システムでの出願登録・入学検定料の支払いを行った後、出願期間内に必要な出願書類などを提出することにより完了します。

インターネット出願での出願登録・入学検定料の支払いを行っただけでは、出願手続完了にはなりません。

なお、検定料の支払い期限は出願登録日を含め4日間\*です。支払い期限内に入金がない場合、出願登録は自動的にキャンセルとなりますのでご注意ください（キャンセルとなったときは再登録してください）。

\* 検定料の払込締切日までの日数が4日より短い場合は、払込締切日が優先されます。

## 7. インターネット出願の流れ

# インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



## STEP

# 1



### 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。  
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…顔写真データ、各種証明書(※詳細は各研究科学生募集要項参照)



## STEP

# 2



### インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶

<https://e-apply.jp/ds/nagoya-gs/>

または、

大学ホームページ ▶

<https://www.nagoya-u.ac.jp/>

からアクセス



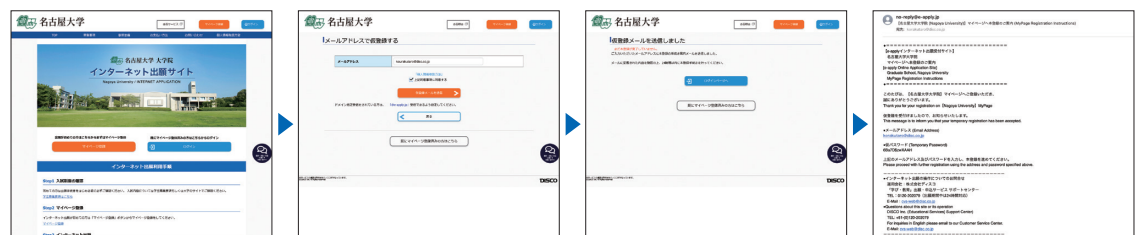
## STEP

# 3



### マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。  
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は  
**マイページ登録** から  
ログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って  
**仮登録メールを送信** を  
クリックしてください。

③ユーザー登録画面から  
**ログインページへ** を  
クリックしてください。

④登録したメールアドレスに  
初期パスワードと  
本登録用URLが届きます。  
※@e-apply.jpのドメインからのメール  
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から  
登録したメールアドレスと④で  
届いた『初期パスワード』にて  
**ログイン** を  
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を  
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して  
**次へ** を  
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して  
**この内容で登録する** を  
クリックしてください。



⑨登録完了となります。  
マイページへ  
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら  
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。  
出願受付期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをおしてください。

## STEP

# 4

## 出願内容の登録

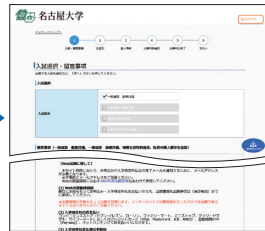
画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の  
**出願手続きを行う** ボタン  
から登録画面へ



②研究科の選択



③入試区分と留意事項の確認



④出願専攻等の選択



⑤顔写真のアップロード  
**写真選択へ** ボタンをクリックし  
写真を選択します。



⑥個人情報(氏名・住所等)の  
入力



⑦出願内容の確認  
**志願票(サンプル)** ボタンを  
クリックすると志願票、写真票、宛名シート  
が確認できます。

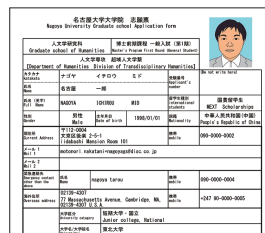


⑧申込登録完了  
**引き続き支払う** ボタンを  
クリックし検定料のお支払い画面へ。



お支払い期限は申込日を含め4日間  
です。ただし、Web出願締切がそれ  
よりも早く到来する場合、Web出願締切  
が期限となります。

⑨入学検定料の支払い方法  
●コンビニエンスストア  
●ペイジー対応銀行ATM  
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑩出願に必要な書類PDF  
(イメージ)  
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の  
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンス  
ストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

### セブン-イレブンの場合

払込票番号  
メモ(13桁)

### デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済  
番号メモ(11桁)

### ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号  
メモ(11桁)  
確認番号  
メモ(6桁)

収納機関番号  
(5桁) **58021** ※収納機関番号は、ペイジーで  
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を  
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



**入学検定料支払い後は、登録内容の修正・変更ができませんので、入学検定料支払い前に必ず登録内容を確認し、誤りがあれば、再度登録してください。**

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。



## 入学検定料の支払い

お支払い期限は申込日を含め4日間です。

ただし、Web出願締切がそれよりも早く到来する場合、Web出願締切が期限となります。

## 1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

## 2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

## 3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi

LAWSON

マルチコピー機  
または  
Famiポートあなたも、コンビニに  
FamilyMart

## 4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

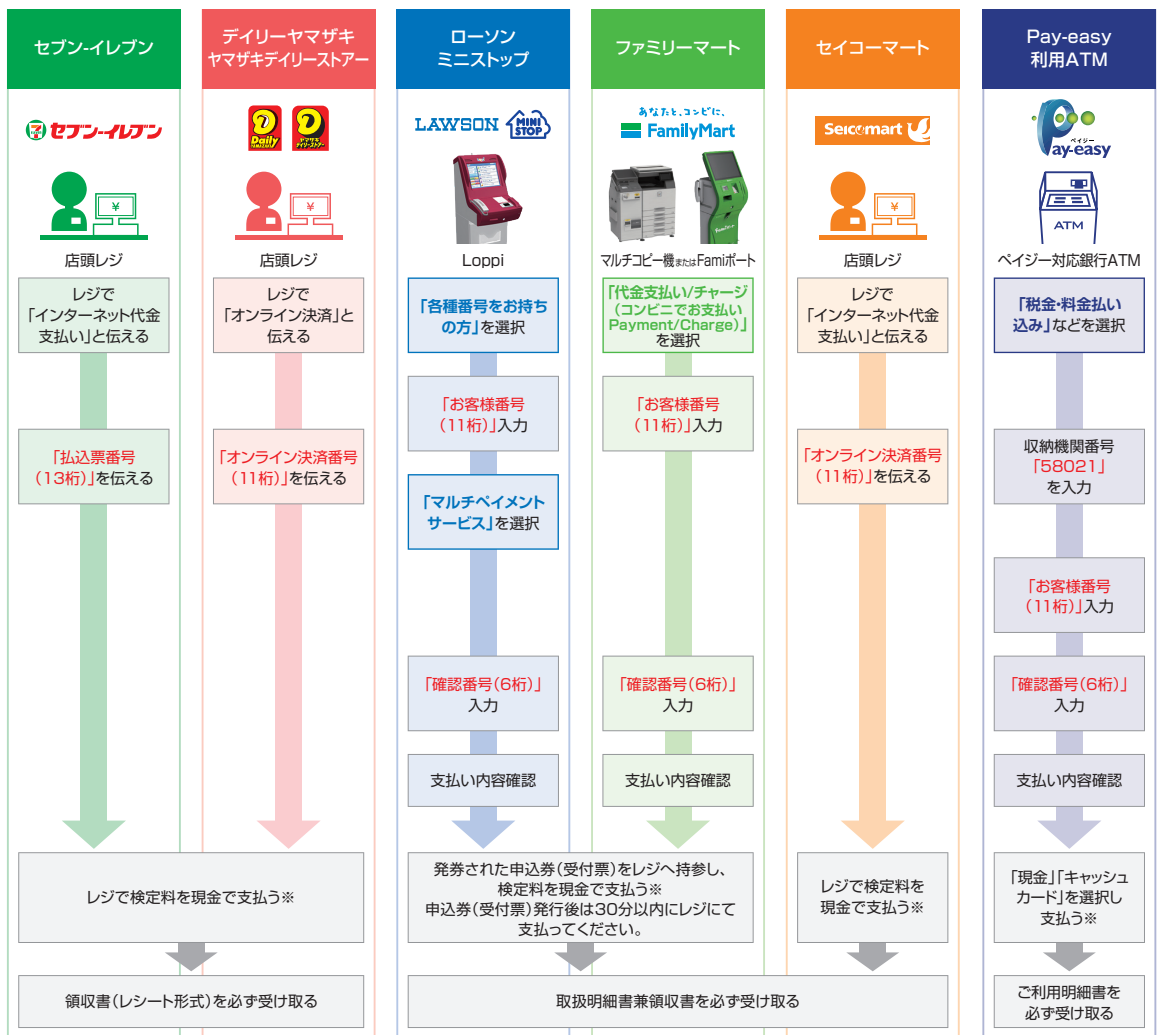
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

## 3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

## STEP

# 6



## 必要書類の印刷と郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全て**カラー印刷**し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「**書留速達郵便**」で郵送してください。

### 出願に必要な書類

⚠ 募集要項を必ず確認してください

- インターネット出願サイトから印刷する書類
- 本学研究科のホームページからダウンロードし、作成する書類
- 出身大学等に発行を依頼する証明書



出願書類提出用宛名シート  
市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)  
に貼り付けて作成

出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

### ■ 出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は学生募集要項を参照してください。

※一旦受理した入学検定料・必要書類は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。

## 〈出願完了〉

### 出願時の 注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。インターネットでの登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

それぞれの期限は各研究科の学生募集要項を参照してください。

インターネット出願は24時間可能です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

## STEP

# 7



## 受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。メールが届かない場合でも、試験前日までにインターネット出願サイトにログインし、各自で**A4用紙にカラー片面印刷**をして**試験当日に持参**してください。



## 8. 入学検定料の払込方法

### (1) 入学検定料 30,000円

検定料のほかに支払手数料（500円程度）が必要となります。

なお、誤って「検定料の免除について」を選択し、入学検定料を支払わずに出願した場合は受理しませんのでご注意ください。

### (2) 払込期間（日本時間）

2022年11月8日以降～2022年11月25日午後3時まで

### (3) 払込方法

入学検定料の支払いは、以下のいずれかの方法で行ってください。詳細は「7. インターネット出願の流れ」の「STEP 5（入学検定料の支払い）」を参照してください。

- ・クレジットカード
- ・ネットバンキング
- ・コンビニエンスストア
- ・Pay-easy対応銀行ATM

### (4) 入学検定料の返還について

出願書類を受理した後は、納入済みの入学検定料は返還いたしません。ただし、以下に該当する場合は、納入された入学検定料を返還します。なお、返還にかかる振込手数料は差し引かせていただきます。

ア 入学検定料納入後、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

イ 入学検定料を二重に払い込んだ場合

※ 入学検定料の返還は銀行振込で行われます。海外の銀行の口座に返還する場合には、返還される金額が大きく減額される他、返還に多大な日数を要しますので、入学検定料の納入は慎重に行ってください。

返還請求方法については、名古屋大学ホームページ (<https://www.nagoya-u.ac.jp/>) →入学案内→大学院入試→入学検定料の返還について を確認してください。

## 9. 考査実施方法

### (1) 筆記試験日時

科目	日	時	備考
専門科目	1月5日(木)	10時00分から 13時00分まで	全専攻

### (2) 筆記試験科目及び選択方法

専門科目

別紙「筆記試験科目及び選択方法（専門科目）」による。

(注) 出願時に申請した専門科目は変更できないので注意してください。

### (3) 外国語（英語）試験におけるスコアシートの提出

外国語（英語）の試験については、TOEFL または TOEIC のスコアによる判定を行います。

#### ① 試験の方法

TOEFL または TOEIC あるいは両方のスコアシートを提出してください。筆記試験は実施しません。TOEFL または TOEIC の得点は以下の方法で算出したものを外国語得点として採用します。TOEFL および TOEIC 両方のスコアシートを提出した場合は換算後、いずれか高い方の得点を採用します。

■ TOEFL iBT を利用した場合：

英語得点 =  $50 + (\text{TOEFL iBT スコア} - 50) \times 5/3$  (100 点以上は 100 とする)

■ TOEFL iBT Home Edition (2020 年の名称は TOEFL iBT Special Home Edition) を利用した場合：

英語得点 =  $50 + (\text{TOEFL iBT Home Edition スコア} - 50) \times 5/3$  (100 点以上は 100 とする)

■ TOEFL ITP を利用した場合：

英語得点 =  $\text{TOEFL ITP スコア} \times 0.34 - 108$  (100 点以上は 100 とする)

■ TOEIC を利用した場合：

英語得点 =  $\text{TOEIC スコア} / 10$

■ TOEIC-IP を利用した場合：

英語得点 =  $\text{TOEIC-IP スコア} / 10$

※ ただし、換算された英語得点が 50 点未満の場合は不合格となります。その場合でも検定料の返還は行いませんので注意してください。

② 対象となるスコア

TOEFL iBT, TOEFL iBT Home Edition (2020 年の名称は TOEFL iBT Special Home Edition), TOEFL-ITP, TOEIC (Listening & Reading Test に限る) および TOEIC-IP (Listening & Reading Test に限る) のいずれかの試験の成績を採用します。なお、留学生で TOEIC-PBT のスコアを有している者はあらかじめ教務学生係に相談してください。

③ スコアシートの提出

スコアシートは、出願期間内に提出してください。**(それ以降の提出は受け付けません。なお、スコアシートの提出後の差し替えは一切認めません。)**

■ TOEFL iBT, TOEFL iBT Home Edition (2020 年の名称は TOEFL iBT Special Home Edition) のスコアシートを提出する場合

以下の(1)と(2)の両方を提出してください。

(1) 公式スコア「Institutional Score Report」または「Official Score Report」

(2) 受験者に届く「Test Taker (Examinee) Score Report (コピー)」

なお、スコアシートを提出する際は、以下の点に注意してください。

1) 「Institutional Score Report」または「Official Score Report」は、出願期間内に ETS から名古屋大学に届くように所定の手続きをしてください。(手続き時に名古屋大学の Institution Code 0312, Department Code を適切に指定してください。適切な Department Code が無い場合は、99 と指定してください。) なお、TOEFL の受験後「Institutional Score Report」または「Official Score Report」が指定送付先に到着するまでに 6~8 週間程度かかるとされています。到着が遅れる場合もありますので、十分な時間的余裕を持って TOEFL を受験してください。

2) 「Institutional Score Report」を提出する場合は、「Test Date Scores」のみを活用します。(My Best スコアは活用しません。)

3) 「Test Taker (Examinee) Score Report」のコピーを出願時に提出してください。

■ TOEFL-ITP のスコアシートを提出する場合

「受験者用控え (薄紫色のカード)」の原本を出願時に提出してください。

■ TOEIC のスコアシートを提出する場合

「Official Score Certificate」(公式認定証)の原本を出願時に提出してください。

■ TOEIC-IP のスコアシートを提出する場合

「スコアレポート (個人成績表)」の原本を出願時に提出してください。

④ スコアシートの有効期限

入学試験実施日から過去 2 年以内 (2021 年 1 月 5 日以降) に実施され、出願時に提出可能なものを

有効とします。

TOEIC「Official Score Certificate」(公式認定証)は返却しませんのでご注意ください。

#### (4) 試験場

名古屋大学大学院生命農学研究科(農学部)

市バス「名古屋大学」、地下鉄「名古屋大学」駅下車、又は地下鉄「東山公園」駅下車南へ500m

#### (5) 第1次合格者発表

1月5日(木)18時頃、生命農学研究科ホームページ(<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/>)に掲載します。第1次合格者については、口述試験を行います。

#### (6) 口述試験

1月6日(金)9時から各専攻別に第1志望の研究室を中心に行います。

第2志望研究室の口述試験が必要と判定された者に対し、1月7日(金)15時から各専攻別に第2志望の研究室を中心に行います。なお、該当者については、1月7日(金)14時頃生命農学研究科ホームページ(<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/>)に掲載します。

### 10. 合格者発表

2022年1月10日(火)午前10時頃、生命農学研究科ホームページ(<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/>)に掲載します。後日郵送にて本人あて通知します。

### 11. 入学手続

(1) 入学手続の詳細は、2023年3月初旬までに本人あて通知します。

(2) 入学料 282,000円(予定額)

(3) 授業料 前期分 267,900円(予定額)  
(年額 535,800円(予定額))

(注) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(4) 入学手続日は、2023年3月22日(水)、23日(木)の予定です。

### 12. 注意事項

(1) 出願手続後の書類の書き換え及び検定料の払い戻しはできません。

(2) 考査実施の詳細は、試験当日掲示します。受験者は試験開始20分前までに試験室に入室してください。

(3) 障害等があつて試験場での特別な配慮を必要とする者は、2022年10月28日(金)までに、次の3点を農学部・生命農学研究科 教務学生係へ提出してください。

1) 受験上の配慮申請書(障害の状況、受験上配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの、A4サイズで様式は自由です。)

2) 障害等の状況が記載された医師の診断書、障害者手帳等(写しでも構いません)。

3) 障害等の状況を知っている第三者の添え書(専門家や出身学校関係者などの所見や意見書)。

4) 適宜それ以外の書類を添付しても構いません。

なお、入学後の修学に関して相談の希望がある場合は、出願期限までにお問い合わせください。

## 13. その他

### 入学試験についての照会先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学農学部・生命農学研究科 教務学生係  
電話 (052) 789-4299・4010  
E-mail : kyomu@agr.nagoya-u.ac.jp

2022年9月

名古屋大学大学院生命農学研究科  
<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp>

## 出願資格(10)による出願について

### 1. 出願資格

出願資格(10)により出願する者は、本研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学時までには22歳に達している者。

### 2. 個別審査

出願資格(10)により出願する者は、あらかじめ次の書類を2022年10月7日(金)〔必着〕までに、農学部・生命農学研究科教務学生係〔14. その他〕の「入学試験についての照会先」を参照〕へ提出又は郵送(書留郵便で封筒の表に「前期課程事前審査申請」と朱書)し、出願資格の有無についての個別審査を願い出てください。

本研究科で個別審査を実施し、その結果は2022年11月4日(月)までに本人あて通知します。

#### (1) 出願資格(10)による出願資格審査願

本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、本人が記載してください。

#### (2) 大学を卒業した者と同等以上の学力があることを示す資料

※資料は下記の項目から該当するものを全て提出してください。例：1)と3)

##### 1) 履歴に短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等の学歴を有する者

これらについての卒業又は修了証明書(今年度中に卒業又は修了する見込みの者については、その証明書)、成績証明書及びシラバス(授業要目)

##### 2) 履歴に技術的・専門的職業についての職歴を有する者

その期間及び職務内容を明記した在職証明書及び本人の作成した成果報告書(様式自由)

##### 3) 履歴に研究歴を有する者

研究歴証明書(本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、所属の長等が証明したもの)、研究実績調書(本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、本人が記載)及び、研究成果報告書(本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、本人が4,000字程度で作成、論文形式とします)

##### 4) 業績として学術論文、著書、研究発表、特許、作品等を有する者

これらを示す資料

#### (3) その他、審査の参考となる資料(自薦、他薦による推薦書など)

#### (4) 返信用封筒 1通 出願資格審査結果通知用

長形3号封筒(12×23cm)に本人のあて名を記入し、84円切手を貼ったもの。

### 3. 出願期間

出願資格審査の結果、出願資格「有」と判定された者は、「6. 出願書類」を、2022年11月22日(火)から11月25日(金)までに教務学生係へ提出してください。

郵送で出願する場合は、「5. 出願期間及び出願手続」の指示に従ってください。

## 筆記試験科目及び選択方法（専門科目）

専 門 科 目	内 容 と 選 択 方 法
1 応 用 数 学	
2 材 料 力 学	
3 物 理 化 学	
4 有 機 化 学	<p>&lt;内容&gt;            専門科目の内容については生命農学研究科のホームページを参照すること。  <a href="https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/">https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/</a></p>
5 生 物 化 学	
6 遺 伝 学	
7 微 生 物 学	
8 細 胞 生 物 学	
9 植 物 生 理 学	
10 動 物 生 理 学	
11 動 物 形 態 学	
12 昆 虫 科 学	
13 生 態 学	
14 水 文 学	
15 土 壌 学	
16 森 林 資 源 学	<p>注：応用生命科学専攻で<u>下記研究室を志望する者は、</u>  <u>専門科目（3, 4, 5, 7, 18）の中から2科目選択することが望ましい。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物有機化学</li> <li>・生物活性分子</li> <li>・食品機能化学</li> <li>・高分子生物材料化学</li> </ul>
17 バイオマス科学	
18 天然高分子化学	
19 植物生産科学	
20 動物生産科学	
21 水産動物学	
22 植物保護学	
23 食料経済学	
24 国際農学	

「名古屋大学大学院生命農学研究科志願票」に受験予定専門科目を記入してください。  
 出願時に申請した専門科目は変更できませんので注意してください。



## 研究内容及び教員一覧

専攻	研究室名	研究内容	教員			
			教授	准教授	講師	助教
1 森林・ 環境資源科学	1 土壌圏物質循環学	土壌圏を中心とした環境中における炭素、窒素、微量元素の循環、土壌有機物特に腐植物質の構造・機能・動態に関する研究。	渡邊 彰			関 真由子***
	2 植物土壌システム	植物、土壌、微生物の三者間の相互作用を解明することにより、森林生態系(とくに人工林)の持続性、健全性を検証する研究。		谷川東子		
	3 森林水文・砂防学	森林を主体とした地域や流域スケールでの水循環や土砂動態の解明とともに、地域社会とその災害の脆弱性の解明を行うことで、自然と社会の多様なスケールでの持続的資源管理を可能とする研究とその社会実装。	五味 高志	田中 隆文		小谷 亜由美
	4 森林生態学	森林生態学、森林遺伝学、森林生態生理学に関する広範な研究。特に、森林群集の構造、動態、機能および樹木個体群の遺伝的多様性、繁殖、生態生理、物質生産と収支、理論モデリングなどに関する研究。	戸丸 信弘	中川 弥智子	小川 一治	
	5 森林保護学	森林や里山など緑域環境における生物群集の存在様式や生物間相互作用、生態系保全に関する研究。		梶村 恒	土岐和多瑠	
	6 森林資源管理学	森林の先端的計測技術の開発、森林資源管理に関わる理論の構築、森林の将来計画立案とその評価手法の開発に関する研究。	山本 一清			
	7 森林社会共生学	森林保全と地域住民の生計向上をめざした森林管理政策、森林認証制度、参加型森林管理、コミュニティフォレストリーや、木材・木材製品をめぐる企業の原木調達戦略に関する研究。	原田 一宏	岩永 青史		
	8 森林化学	木質系バイオマスの形成過程とその構造、および高度利用に関する有機化学的、生化学的、分析化学的な研究。	福島 和彦		青木 弾	
	9 循環資源利用学	樹木抽出成分の単離・構造決定、生合成、分布および利用。		今井 貴規		
	10 木材物理学	樹木の成長過程と成長応力及び材質発現機構、熱帯造林樹種の成長と木部成熟特性、木質形成の分子生物学、生物材料の水分・熱および力学特性。	山本 浩之	吉田 正人		
	11 木材工学	木材・木質材料の構造利用における力学的耐久性、木質構造の力学挙動解析、森林資源の材質分布と需給計画、木質による都市環境デザインなどに関する研究。	山崎 真理子			安藤 幸世
	12 生物システム工学	生物資源を対象とした非破壊計測システムおよびデータサイエンスに関する研究。	土川 覚	稲垣 哲也		

\*\*\* 特任助教

(2022年10月1日現在)

## 研究内容及び教員一覧

専攻	研究室名	研究内容	教員			
			教授	准教授	講師	助教
2 植物生産科学	13 植物生理形態学	植物細胞・組織の機能分化や環境ストレスに対する応答・耐性について、構造と機能の両面からの理解を図り、作物をはじめとする様々な有用植物の生理機能解明とその応用展開を行う。	谷口 光隆	三屋 史朗		大井 崇生
	14 植物遺伝育種学	栽培植物の系統分化、形態形成、発生および環境ストレス耐性に関する遺伝育種学的、分子遺伝学的、分子生物学的、および生理学的研究	中園 幹生	高橋 宏和		
	15 作物科学	作物生産の生理・生態学的解析、とくに環境応答・資源獲得に関する研究。	近藤 始彦	矢野 勝也	杉浦 大輔	
	16 園芸科学	園芸作物の生産性向上のためのバイオテクノロジーおよび生理学・生化学・分子生物学的研究。特に、花器官の形成、開花、花色に関する生理、また、果実の結実生理および糖や二次代謝産物などの物質蓄積の解明とその制御。	松本 省吾 (2023年3月退職予定)	白武 勝裕		
	17 植物病理学	植物病原体の感染に対する植物の生体防御機構、植物病原体や有用微生物と植物の相互作用に関する生理学・生化学・分子生物学的研究。それらの成果を基盤とした生物防除法の開発に関する研究。		竹本 大吾 千葉 壮太郎		佐藤 育男
	18 植物免疫学	植物病原菌や害虫との相互作用で誘導される植物免疫の分子機構に関する研究。このメカニズムに基づく植物ワクチンの開発。		吉岡 博文		
	19 耕地情報利用	作物の遺伝情報、形態、生理特性、生産物の収量や品質、土壌や気象等の生育条件等の様々な情報を収集し、それらの関係性を情報学的手法で解析することで有益な情報を抽出し、品種改良や栽培管理の改善を通じて作物生産を向上させるための研究	村瀬 潤	土井 一行		西内 俊策 沢田 こずえ***
	20 食料経済学	食料・農業問題、地域資源管理、農業の多面的機能等に関する社会科学のおよび学際的研究。	徳田 博美	竹下 広宣		三浦 聡
	21 植物遺伝子機能	植物の遺伝子機能を明らかにする研究およびその利用に関する研究。	芦苅 基行			永井 啓祐
	22 発生学・システム植物学	高精細イメージングと多階層オミクスを駆使して花と根の発生をシステムとして理解する。フロリゲンの分子機能解明。植物成長と環境適応を支える根の組織構造の解明。	辻 寛之	山内 卓樹		
	23 植物ゲノム育種	環境・エネルギー・食の問題など、現代社会の課題解決を目指し、作物ゲノムビッグデータを活用しつつ、基礎研究から社会実装を見据えた応用研究まで一貫貫型の先駆的育種学研究を展開する。	佐塚 隆志			岡田 聡史
	24 生物産業創出	植物資源の価値化・保全へ向けた、接ぎ木、植物の全身性シグナル伝達メカニズムを中心とする基礎から応用までの研究。	上口 美弥子 (2023年3月退職予定)	野田口 理孝	黒谷 賢一**	
	25 熱帯生物資源	地域資源の開発と利活用、それを可能とする環境の保全による持続的発展を目指し、世界の食需要の多様化や気候変動に対応するための熱帯原産農林資源の探索や形質評価を行う。	江原 宏			仲田 麻奈
	26 生物遺伝情報	地域資源の開発と利活用、それを可能とする環境の保全による持続的発展を目指し、生物資源の有用形質遺伝情報の解析に関する研究を行う。	犬飼 義明			
	27 実践アフリカ開発	アフリカの熱帯地域における持続的な適正農林業生産技術の開発、新資源・技術の馴化と普及を図り、研究成果に基づく社会実装を実現することを目指す。		榎原 大悟		
28 実践アジア開発	アジアの熱帯地域における持続的な適正農林業生産技術の開発、新資源・技術の馴化と普及を図り、研究成果に基づく社会実装を実現することを目指す。		伊藤 香純			
29 植物エピジェネティクス	イネにおける非生物学的ストレス耐性のエピジェネティック解析		CARTAGENA Joyce Abad			

\*\*特任講師

\*\*\* 特任助教

(2022年10月1日現在)

## 研究内容及び教員一覧

専攻	研究室名	研究内容	教員			
			教授	准教授	講師	助教
3 動物科学	30 動物遺伝育種学	哺乳類および鳥類における様々な質的形質と量的形質の遺伝的基盤に関する研究、ゲノム編集等の発生工学を用いる動物の進化遺伝学研究、動物遺伝資源の評価と保全・利用に関する研究、ヒト疾患および生物機能研究用モデル実験動物の開発・育成に関する研究。	隅山 健太	石川 明		山縣 高宏
	31 ゲノム・エピゲノムダイナミクス	脊椎動物や昆虫におけるトランスポゾンや遺伝子のエピジェネティック制御機構の研究。生殖細胞形成期のエピゲノム制御機構の研究。種間および種内でのエピゲノムやゲノムの比較解析を通じた、ゲノムとエピゲノムの相互作用に関する研究。トランスポゾンの活性化によるがん細胞増殖抑制機構の研究。	一柳 健司			大谷 仁志
	32 動物形態学	脊椎動物における形成と変形に関わる研究。脊椎動物におけるウイルスの内在化および内在化ウイルスの役割。Transgenerational epigenetic inheritance (TEI)。	本道 栄一			飯田 敦夫
	33 動物統合生理学	脊椎動物(哺乳類、鳥類、魚類)の季節適応機構と概日時計機構の解明。季節繁殖や概日時計の制御を通じた動物生産性の向上とヒトの健康の増進に関する研究。ニワトリにおける成長制御と成長因子発現調節に関わる研究。	吉村 崇	大川 妙子	金 尚宏**	塚田 光 中山 友哉*** CHEN Junfeng***
	34 動物生殖科学	哺乳類の生殖機能制御を担う神経内分泌学的な基礎研究と、そのメカニズムを利用した畜産や創薬への応用研究。	束村 博子	上野山 賀久 井上 直子		
	35 動物栄養科学	哺乳類と鳥類における代謝性疾患(脂質異常症や脂肪肝など)の栄養学的制御因子と環境因子の解明。鳥類の卵に含まれる生体分子の取り込み機構の解明とその仕組みを利用した有用タンパク質生産への応用。	村井 篤嗣			
	36 動物生産科学	反芻家畜の生理機能の調節機序に関する基礎研究とその機能を利用した動物生産にかかわる応用研究。	大蔵 聡	松山 秀一 中村 翔*		
	37 鳥類バイオサイエンス	鳥類有用遺伝形質を利用した遺伝学・分子細胞生物学。鳥類遺伝子改変技術の作出と医薬品生産を目指した利用。	西島 謙一			奥崎 雄也
	38 水圏動物学	水産動物の神経系、感覚器、運動器に関する形態学的、生理・生態学的、進化的行動学的研究、ならびにペプチドニューロンによる感覚・神経系～行動の持続的制御に関する神経生理学的研究。	山本 直之	阿部 秀樹		後藤 麻木 萩尾 華子***
	39 資源昆虫学	昆虫ウイルスの増殖機構とウイルスと宿主昆虫との相互作用、昆虫の抗ウイルス応答機構についての研究。	池田 素子			浜島 りな
40 害虫制御学	生理生化学・分子生物学的アプローチを通じた農業害虫の制御法開発に関する研究。			水口 智江可		

\* 特任准教授  
\*\* 特任講師  
\*\*\* 特任助教

(2022年10月1日現在)

## 研究内容及び教員一覧

専攻	研究室名	研究内容	教員			
			教授	准教授	講師	助教
4 応用生命科学	41 生物有機化学	特異な化学構造と生物活性を示す天然有機化合物の生物有機化学的研究。新しい有機合成反応・合成方法論の開発、天然有機化合物の全合成研究と生物機能の解析・制御に関する研究。	西川 俊夫			宮坂 忠親
	42 生物活性分子	植物、微生物、海洋生物などが生産する生物活性天然分子の同定、作用機構、生合成、受容体に関する研究。	小鹿 一 (2023年3月退職予定)	中川 優(糖鎖生命コア研究所専任教員)	近藤 竜彦	
	43 天然物ケミカルバイオロジー	生物現象を司る天然物の単離、構造決定、合成、生合成、および作用機序に関する研究。哺乳動物由来の麻痺性神経毒や、海洋生物の共生現象鍵物質に関する研究。蛍光プローブを用いた新たな標的分子の解析法の開発。	北 将樹	恒松 雄太		
	44 高分子生物材料化学	糖鎖高分子、生物機能高分子、生分解性高分子、植物由来高分子およびこれらを活用した医用高分子の設計、精密合成、機能発現に関する研究。生物的機能を有するバイオマテリアルの創出。	青井 啓悟	野村 信嘉		
	45 食品機能化学	食と健康をキーワードとした基礎研究、特に生活習慣病に関連した内因性因子としての酸化ストレス、及び外因性環境因子としての機能性食品に関する研究。	柴田 貴広			中島 史恵 服部 浩之***
	46 応用酵素学	フラビン酵素やピリドキサル酵素の構造機能相関。イソプレノイドやアミノ酸の生理作用と代謝関連酵素に関する研究。微生物や酵素を用いた有用物質生産に関する研究。古細菌の脂質合成に関する研究。	邊見 久		伊藤 智和	
	47 分子生物学	新規な生物機能分子、生物反応プロセス、解析システムを創成することを目的とした生物工学的研究を行っています。現在、新規モノクローナル抗体スクリーニング、一分子スクリーニング技術を用いたタンパク質工学、翻訳促進配列のメカニズム解明などが主要な研究テーマとなっています。	中野 秀雄		DAMNJANOVIC, Jasmina	加藤 晃代
	48 分子細胞制御学	健康寿命の延伸に資する、ヒトを含む動物細胞の成長・分化・細胞死における情報伝達や細胞内輸送、細胞外分泌、遺伝子発現制御に関する生化学的および分子細胞生物学的研究。		柴田 秀樹	高原 照直	
	49 分子生体制御学	哺乳類におけるタンパク質、核酸とこれら複合体の生合成および生体内での動態、ならびに上記分子の細胞増殖・組織分化を含む生体における作用および制御機構を生化学・分子細胞生物学的に研究しています。乳腺発達と乳汁産生、リボソームを含む翻訳制御機構、および生理活性成分への上皮応答が主な研究対象です。		灘野 大太		大島 健司
	50 糖鎖生命科学	真核生物における糖鎖の役割の理解と制御を通じて、よりよい健康、環境、食を目指した農医薬融合研究を行っています。現在は主に精神疾患や癌をターゲットとしています。	佐藤 ちひろ			羽根 正弥
	51 動物細胞機能	糖タンパク質や糖脂質の糖鎖代謝変化が個体レベルに及ぼすインパクトをメダカを用いたグライコミクスを含む統合オミックス解析によって解明。	北島 健			呉 迪
	52 動物細胞生理学	真核生物における膜輸送体タンパク質、細胞外マトリックスタンパク質の生理機能と情報伝達に関する研究。		MATURANA Andrés Daniel	新美 友章	
	53 栄養生化学	栄養素(主にタンパク質・アミノ酸)による酵素および遺伝子発現の制御機構。3次元培養による肝臓特異的遺伝子発現の制御機構に関する研究。肝臓の概日リズムのメカニズムと時間栄養学。分岐鎖アミノ酸の代謝と生理機能。		小田 裕昭	北浦 靖之	
	54 土壌生物化学	水田生態系各部位に生息する生物群集の構造・特性と機能および生物間の相互作用に関する研究。	浅川 晋		渡邊 健史	新庄 莉奈***
	55 応用微生物学	食品の製造や植物の病気に関わるカビを題材として、分子・化学遺伝学的なアプローチから物質生産とその制御機構に関する基盤研究を進めている。また、微生物の機能を活かし、食資源活用や健康増進への貢献を目指した応用研究も行なっている。	木村 真			前田 一行
	56 植物情報分子	栄養環境の変化に応答した植物の成長制御について、それに関わる情報分子の同定や生合成、輸送のしくみを分子レベルで解明することを目指した研究を行なっている。	榎原 均	木羽 隆敏	田畑 亮** 橋本(杉本) 美海	
	57 生物化学	花・花粉・根など植物の各器官の分化を引き起こす遺伝子の働きについて、生化学的・分子生物学的・分子遺伝学的・形態学的な手法を用いて研究している。また、高等植物とシアノバクテリアの光合成や無機栄養素同化を支える膜タンパク質の機能とその制御機構を研究している。		石黒 澄衛		前尾 健一郎 前田 真一 中西 洋一
	58 ゲノム情報機能学	クロロフィル生合成・窒素固定・概日リズム・ホルモン情報伝達の調節機構に関する研究を、主としてシアノバクテリア・植物を材料として、生化学的、細胞分子生物学的、分子遺伝学的観点から行っている。	藤田 祐一	山篠 貴史		山本 治樹
	59 分化情報制御	高等植物の生長、分化における形質発現に関する生化学的・分子生物学的研究。	森 仁志 (2023年3月退職予定)			
60 植物細胞機能	高等植物の成長・分化制御とその環境情報応答に関する研究。植物細胞における非膜系オルガネラに関する研究。		上口 智治 武田 真			
61 植物統合生理学	内的・外的環境の周期的な変化を感知し、植物が自らの生理現象を秩序立てる仕組みを、主に分子遺伝学・生化学・マルチオミクス研究によって、分子から個体レベルでの秩序の形成や維持の仕組みの解明を目指す。またこの知見を基盤とした植物の生産性の向上に資する技術開発にも取り組む。	中道 範人				

\*\*特任講師  
\*\*\*特任助教

(2022年10月1日現在)

The following provides information to applicants on admissions to the Master's Program, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University, beginning in April 2023

### 1. Requirements for applicants:

Applicants must have obtained official approval to study in Japan under the Japanese Immigration Control Law<sup>\*1</sup>, and must satisfy one of the following requirements by the day prior to the day of enrollment:

- (1) Applicants who have graduated from a Japanese university or college.
- (2) Applicants who have been awarded a bachelor's degree from the National institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education.
- (3) Applicants who have completed the 16-year course of formal education in their country.
- (4) Applicants who have completed the 16-year course of formal education in Japan via an online curriculum offered by a foreign school.
- (5) Applicants who have completed in Japan one of the relevant courses at an educational institution that is recognized by the authorities of a foreign country as an institution offering undergraduate courses to finish the 16-year course of formal education of the country and is approved by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, Japan.
- (6) Applicants who have completed at least 3 years of study at a foreign university and earned a bachelor's degree.
- (7) Applicants who have completed their studies at a designated vocational school (according to MEXT's list of designated vocational schools).
- (8) Applicants who completed their studies at a school under Japan's old education system.
- (9) Applicants who have completed in Japan one of the relevant courses at an educational institution that is recognized by the authorities of a foreign country as an institution offering undergraduate courses to finish the 15-year course of formal education of the country and is approved by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, Japan. It needs to be recognized by this Graduate School that the applicants have earned the necessary credits with satisfactory grades.

NOTE: Applicants must ask the Student Affairs Section for the details and submit the required documents by or on October 7, 2022.

- (10) Applicants who are recognized by the Graduate School to be equivalent in academic level to those graduating from a Japanese university.

NOTE: Applicants must ask the Student Affairs Section for the details and submit the required documents by or on October 7, 2022.

\*1: Applicants who have not obtained official approval by the time of application must obtain official approval before starting enrollment procedures.

### 2. Maximum number of Enrollment: A several

### 3. Academic Department/Laboratory offering master's program

Department	Laboratory
Forest and Environmental Resources Sciences	Resources Cycling in Pedosphere, Plant-Soil Systems, Forest Hydrology and Disaster Mitigation Science, Forest Ecology, Forest Protection, Forest Resource Management, Forest Resources and Society, Forest Chemistry, Biomass Resource Utilization, Wood Physics, Timber Engineering, System Engineering for Biology

Plant Production Sciences	Plant Physiology and Morphology, Plant Genetics and Breeding, Crop Science, Horticultural Science, Plant Pathology, Plant Immunology, Information Sciences in Agricultural Lands, Food Economics, Plant Gene Function, Developmental and Systems Plant Biology, Plant Genomics and Breeding, Bioindustry, Tropical Bioresources, Genetic Information for Bioresources, Practical Studies in Africa, Practical Studies in Asia, Plant Epigenetics
Animal Sciences	Animal Genetics and Breeding, Genome and Epigenome Dynamics, Animal Morphology, Animal Integrative Physiology, Animal Reproduction, Animal Nutrition, Animal Production Science, Avian Bioscience, Fish Biology, Sericulture and Entomoresources, Applied Entomology
Applied Biosciences	Organic Chemistry, Bioactive Molecules, Chemical Biology of Natural Products, Polymer Chemistry, Food and Biodynamics, Applied Enzymology, Molecular Biotechnology, Molecular and Cellular Regulation, Molecular Bioregulation, Glyco-Life Science, Animal Cell Function, Animal Cell Physiology, Nutritional Biochemistry, Soil Biology and Chemistry, Applied Microbiology, Plant Signaling, Biochemistry, Molecular and Functional Genomics, Developmental Signaling Biology, Plant Cell Function, Plant Integrative Physiology

#### 4. Department/ Laboratory selection of applicants

Applicants are allowed to make two choices.

(1) The applicant's field of study must be chosen for the first choice of department/Laboratory.

NOTE: See "Laboratories, Areas of Research, and Staff."

(2) The second choice can be among any department or laboratories.

#### 5. Required documents for application

(1) Nagoya University Graduate School Application Form/ Photograph Card	The application form and photograph card must be printed in color on a single-sided sheet of A4 sized paper from the online application system. * The applicant must prepare and upload a portrait photo, that is front facing, includes the upper body, no hats or backgrounds, and has been taken within 3 months of the application.
(2) Application Form (Graduate School of Bioagricultural Sciences)	Download and fill out the prescribed form from the Graduate School website.
(3) Personal History for Foreign Applicants	Needed only for applicants who are of non-Japanese nationality, excluding those who graduated from or are expected to graduate from Japanese universities. Download and fill out the prescribed form from the Graduate School website.
(4) Academic Transcripts	The original copy of official transcript from the undergraduate school (including liberal arts) the applicants has attended. * If they are not written in Japanese or English, please attach an English translation version.

(5) Certificate of (Prospective) Graduation	Diploma or certificate of graduation or expected graduation from a university. * <b>Applicants who have graduated from a university in China</b> , should print the certificate issued by the China Academic Degree and Graduate Education Development Center (CDGDC) and submit it along with other application documents. The details of this process can be checked on the CDGDC website ( <a href="http://www.cdgdc.edu.cn">http://www.cdgdc.edu.cn</a> ). The issuance of certificates may take time, so applicants should start the process early.
(6) TOEFL or TOEIC Score Sheet	See “ <b>9. Examinations</b> ”, Item (3) “Submission of score sheets for foreign language (English) examination” for details.
(7) A Photo Copy of Residence Card (both sides)	Needed only for applicants without Japanese nationality, excluding those with official approval of permanent residency in Japan.
(8) Declaration of Applicable Specific Categories*	Download and fill out the prescribed form from the Graduate School website. If you fall into one of the following categories, please submit the relevant evidence. - hired by a foreign government, corporation, or university: letter of employment/contract - receiving a grant or a scholarship from a foreign government, corporation, or university: letter of funding, notice of scholarship award

\*Regarding submission of “(10) Declaration of applicable specific categories”

In November 2021, in accordance with the clarification of the scope of control for “Deemed Exports” under the Foreign Exchange and Foreign Trade Act (“FEFTA”), some provision of sensitive technology to students by universities has become subject to control under the FEFTA.

- 1) Please submit a “Declaration of applicable specific categories” when applying to our graduate program. Please also submit the relevant evidence if you fall into one of the Categories 1 to 3.
  - employed by a foreign government/corporation: proof of employment
  - receiving scholarship from a foreign government/corporation: notice of scholarship award or application form
- 2) Students will also be required to submit a “Letter of confirmation” at the time of their admission.

## 6. Application Periods and Procedures

### **When Submitting Documents by mail**

**Application Periods: November 22 to November 25, 2022 (documents must be postmarked by November 25)**

When submitting application documents by mail, please print out the “Address Sheet” in color via the online application system, attach it to an envelope, and send it so it arrives by the application deadline (documents must be postmarked by November 25) via registered mail.

Address: Student Affairs Section, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University  
Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601

### **When Submitting Documents by hand**

**Application Periods: November 22 to November 25, 2022**

**Open from 9:00 a.m. till 11:30 a.m. and from 1:30 to 4:00 p.m. (JST)**

Please hand in application documents by the application deadline (by 4:00 p.m. on November 25, 2022). You don't have to put documents in an envelope.

Address: Student Affairs Section, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University  
Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601

### **Online Application Periods**

**November 8 to 3:00 p.m. (JST), November 25, 2022**

The application procedure will be completed by submitting the necessary application documents within the application period after completing registration and application fee payment with the online application system.

The application procedure is only complete when the application documents arrive at the Graduate School. Registration and application fee payment with the online application system alone does not complete the application procedures.

The application fee payment must be completed within 4 days from the day of registration. If a payment is not made within the period, the application registration will be automatically cancelled. (Please re-register if your registration is cancelled)

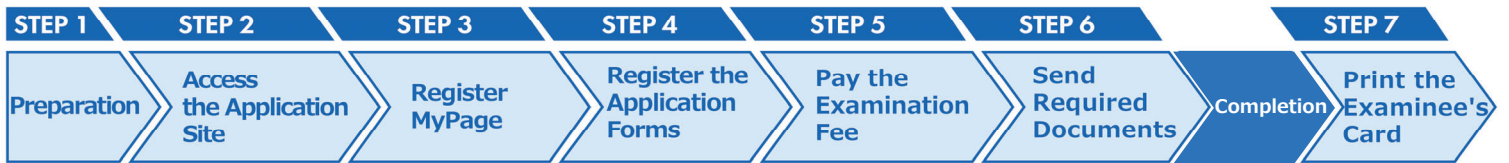
\*If the payment deadline is in less than 4 days, the payment deadline will be prioritized.

## **7. Online Application Flow**



# Web Application Flow

The web application flow is as follows.



## STEP

# 1

### Preparation

Prepare a computer and printer connected to internet (smartphone and tablet are not recommended).  
Prepare \*required documents well in advance before application since it may take time to obtain them.



\*Required documents: ID photo, Certificates etc.  
For details, please see [the application guidelines](#) for your desired program.

## STEP

# 2

### Access the Application Site

From the application site ▶ <https://e-apply.jp/ds/nagoya-gs/>

OR

University website ▶ <https://www.nagoya-u.ac.jp/>



## STEP

# 3

### MyPage Registration

Follow the instructions on the screen to enter the required information and register for MyPage. If you have already registered MyPage, please proceed to STEP4.



① If you register MyPage for the first time, please login from **My Page**.



② Register your email address and click **Submit a temporary registration e-mail**.



③ Click **Go to Login**.



④ The initial password and URL for main registration will be sent to the e-mail address.

\* Please check your e-mail settings as well to ensure that you are able to receive c mails from @c apply.jp domain.



⑤ On the login screen, enter the registered e-mail address and the "initial password" you received in ④, and click **Login**.



⑥ Change from the initial password to new password.



⑦ Enter the required personal information and click **Next**.



⑧ Confirm the personal information you entered and click **To register in this content**.



⑨ Registration is completed. Click **to My Page**.



⑩ When the above is displayed, MyPage registration is complete.

\* During the application period, click **Carry out the application procedure >** to continue the application procedure. Outside of specified periods, you cannot proceed any further, so click **Log out** to logout.

## STEP

# 4

## Register the Application forms

Make sure to confirm to procedures and notes on the screen page, and enter required information.



① Login to MyPage and click **Carry out the application procedure >** then go to the registration screen.



② Select your graduate school.



③ Choose which entrance examination and read the important notes.



④ Choose the department or major which you are applying for.



⑤ Upload ID photo data. Then click **to choose photo >** to select a photo.



⑥ Enter the required information.



⑦ Confirm application form. You can check the application form by clicking **Application Form (sample)**.



⑧ Application registration is completed. Click **Continue to pay** to the examination fee payment screen.



⑨ Pay the examination fee.

- Convenience stores\*
  - ATMs with Pay easy\*
  - Internet banking\*
  - Credit card
- \* In Japan



⑩ PDF documents are required for application (image).

\*Printing will be available after payment of the examination fee. This is required to submit as well as required documents.

If you choose to pay the examination fee at a convenience store or a bank ATM that supports Pay-easy, please make sure to take down the necessary payment number displayed after selecting the payment method, and pay the fee at a convenience store or bank ATM within the notified payment deadline.

### At Seven Eleven

Payment slip number (13 digits)

### At Daily Yamazaki, SeicoMart

Online settlement number (11 digits)

### At Lawson, Mini Stop, FamilyMart, ATMs with Pay-easy

Customer number (11 digits)

Confirmation number (6 digits)

receiving institute number (5 digits) **5 8 0 2 1** At ATMs with Pay-easy

A confirmation e-mail will be sent to you after you have completed the registration of your application. If you have set restrictions on receiving e-mails, please allow the sender (@e-apply.jp).  
\*Please note that the confirmation email may be sent to your junk folder.



No corrections and/or changes can be made after the payment. Make sure that your application contents are all correct.

# Pay the examination fee

## 1 Paying with a credit card

You can select and pay during the online application.

[Credit cards available for the payment]

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFG, DC, UFJ, NICOS



The payment can be completed during the online application.

## 2 Paying by internet banking

After your online application is registered, the page will shift to the site of the bank you chose. Make the payment as instructed on the screen.

\*Required your bank account is registered for internet banking.

The payment can be completed online.

## 3 Paying at convenience stores

Write down the number displayed after your online application is registered, and pay at any one of the following convenience stores.

● Pay at the cashier

● Pay using the terminal



Loppi



Fami Port



## 4 Paying at ATMs with Pay-easy option

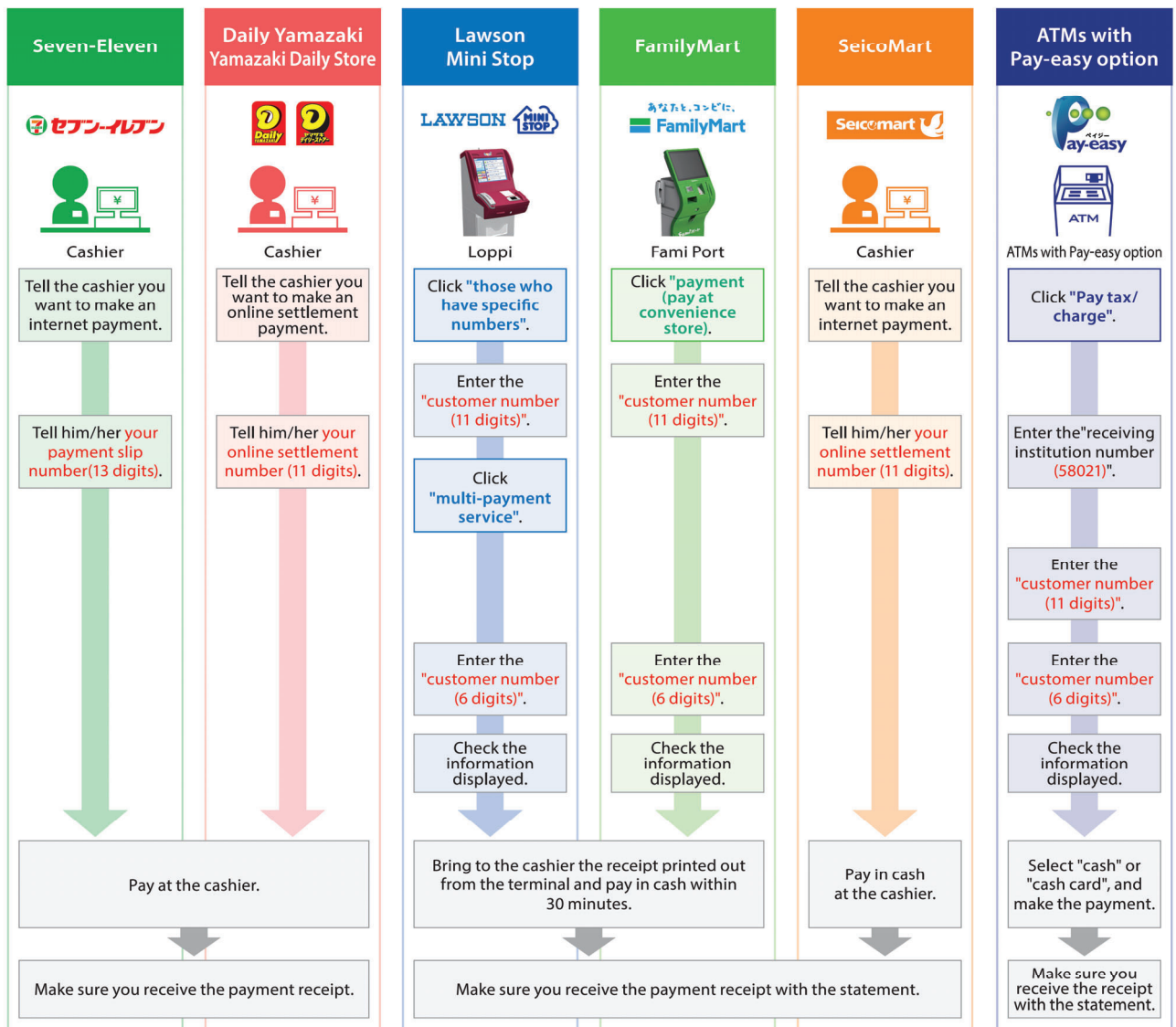
Write down the number displayed after your online application is registered, and pay at any one of the ATMs with Pay-easy option as instructed on the screen.



\*Banks with Pay-easy option can be checked on the [Selection of Payment Method] page.

Enter necessary information as instructed on the screen of the terminal or ATM, check the information displayed, and make the payment.

### 3 Convenience stores



## STEP

# 6

## Send Required Documents

Print the documents downloadable in color after the completing and paid your application and send them from post office by registered express mail (書留速達郵便) along with other required documents.

If you are from outside Japan, send them by tracked post (EMS etc.) within the application period.

### Required documents Make sure to check the application guidelines.

- Documents to be printed from the web application
- Documents to be downloaded from the Graduate School WEB site and prepared
- Certificates of eligibility for application

etc.



One copy is required for each application registration. Please refer to **the application guidelines** for the required documents.

The mailing address of your application will be automatically printed on the Address Sheet. When sending from overseas, please follow each sending method without using this sheet.



Address Sheet for submitting your application

Attach the sheet to an envelope (24cm x 33.2cm).



If the application guidelines specify other submission methods, please follow it.

\*The examination fee and necessary documents that have been received will not be returned in any way except for those specified it in **the application guidelines**.

## Application Completion

### Note for Application

Your application will be completed only after you complete the web application, pay the examination fee, and send the required documents by the deadline.

Please make sure to check the deadline in **the application guidelines**.

## STEP

# 7

## Print the Examinee's Registration Card

When the application is accepted and the examinee's registration card is able to be printed, you will be notified it through the e-mail address you have registered. If you do not receive the e-mail, please login to the web application site by the day before the examination, print the card out on an A4 paper, single-sided in color, and bring this with you on the day of the examination.



## 8. How to Pay Entrance Examination Fee

(1) Entrance Examination Fee: 30,000 JPY

\*In addition to the application fee, a service charge (about 500 JPY) will be required.

(2) Payment Period (Japan Standard Time)

November 8, 2022 – 3:00 p.m. (JST), November 25, 2022

(3) Payment Method

Please pay the entrance examination fee through one of the following methods.

See “**5. Online Application Flow**” for details.

- Credit card
- Internet banking
- Convenience Store
- ATM with Pay-easy

(4) Refunding of Entrance Examination Fee

We will not refund the paid entrance examination fee once the application documents have been received. However, we will refund the paid entrance examination fee if any of the following circumstances apply. Please note that any transfer fees required for the refund process will be deducted from the refunded amount.

- a) The entrance examination fee has been paid, but no application was made or the application was not accepted
- b) The entrance examination fee has been paid twice.

**\*Entrance examination fee refunds will be done through bank transfer. If the refund is sent to an overseas bank account, the refunded amount will be greatly reduced, and it will take many days to complete the refund process, so please be careful when paying the entrance examination fee.**

For information on how to request a refund, please check the Nagoya University website (<https://www.nagoya-u.ac.jp/>) - Admissions - Graduate School Entrance

Examination/Undergraduate Transfer Examination etc. - Regarding Entrance Examination Fees (in Japanese).

## 9. Examinations

(1) Written examinations

Type	Date	Time
Subjects in Major	January 5, 2023	10:00-13:00

(2) Subjects & Selection of Written Examinations

Subjects in Major

NOTE: See the attached “Examination Subjects and Instructions for Subject Choice”.

Notice for subject choice. You cannot change subjects that you have described in the application form.

(3) Submission of score sheets for foreign language (English) examination

TOEFL or TOEIC scores will be used as the means of assessment for the foreign language (English) examination.

### 1. Examination Method

Submit the score sheet for the results of TOEFL, TOEIC or both. There will be no written examination. The score from either TOEFL or TOEIC will be calculated using the following method, and will be adopted as your foreign language (English) score.

If the applicant submits both TOEFL and TOEIC scores, these will be converted and the higher score will be adopted.

■For TOEFL iBT

English score =  $50 + (\text{TOEFL iBT score} - 50) \times 5/3$  (converted scores of 100 points or higher will all be treated as 100 points)

■For TOEFL iBT Home Edition (name for 2020 is TOEFL iBT Special Home Edition)

English score =  $50 + (\text{TOEFL iBT Home Edition score} - 50) \times 5/3$  (converted scores of 100 points or higher will all be treated as 100 points)

■For TOEFL ITP

English score =  $\text{TOEFL ITP score} \times 0.34 - 108$  (converted scores of 100 points or higher will all be treated as 100 points)

■For TOEIC

English score =  $\text{TOEIC score} / 10$

■For TOEIC-IP

English score =  $\text{TOEIC score} / 10$

\* Any converted score of less than 50 points will count as a failing score. In this case, please be aware that the application fee is still non-refundable.

### 2. Eligible scores

Scores from the following can be submitted: TOEFL-iBT, TOEFL iBT Home Edition (name for 2020 is TOEFL iBT Special Home Edition), TOEFL-ITP, TOEIC (limited to Listening & Reading Test), or TOEIC-IP (limited to Listening & Reading test). International applicants who have TOEFL-PBT scores should consult the Student Affairs Section before submitting documents.

### 3. Submission of score sheet

Score sheets must be submitted during the application period. **(Submissions after the application period will not be accepted. Note that score sheets may not be changed after submission, without exception.)**

- If you submit a score sheet from TOEFL iBT or TOEFL iBT Home Edition (name for 2020 is TOEFL iBT Special Home Edition).

Please submit both (1) and (2) below.

(1) Official Score: "Institutional Score Report" or "Official Score Report"

(2) A copy of the "Test Taker (Examinee) Score Report" that is sent to the examinee.

Please note the following points when submitting the score sheets.

- 1) For the "Institutional Score Report" or the "Official Score Report", please be sure to complete the designated procedures so that the reports can be sent from the ETS to Nagoya University within the application period (When making the procedures, please designate the appropriate Nagoya University's Institution Code "0312" and the Department Code. If there is no appropriate Department Code, designate "99".) Note that after the TOEFL examination, it takes about 6 to 8 weeks for the "Institutional Score Report" or "Official Score Report" to reach the designated

recipient. There may be delays in arrival, so please take the TOEFL examination well ahead of time.

2) If you submit the “Institutional Score Report”, use only the “Test Date Scores”. (You may not use My Best Score.)

3) Please submit a copy of the “Test Taker (Examinee) Score Report” with the application documents.

■ If you submit a score sheet from TOEFL ITP

Please submit an original of the “Test Taker’s Copy of Score Report (light purple card)” with the application documents.

■ If you submit a score sheet from TOEIC

Please submit an original of the “Official Score Certificate” with the application documents.

■ If you submit a score sheet from TOEIC-IP

Please submit an original of the “Score Report” with the application documents.

#### 4. Period of validity of score sheets

Tests from 2 years before the entrance examination (i.e. January 5, 2021, or later) to those for which results can be submitted by the application deadline are valid.

#### (4) Place of Examination

Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University (School of Agricultural Sciences)  
500m eastward from the city bus stop “Nagoya-daigaku” or the subway station “Nagoya-daigaku”  
southward from the subway station “Higashiyama-koen”

#### (5) Announcement of written examination results

Time/Date: around 6:00 p.m. (JST), January 5

Place: Graduate School of Bioagricultural Science website: <https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/>

NOTE: Applicants passing this examination must take the oral examination next.

#### (6) Oral examination

Time/Date: 9:00 a.m. (JST), January 6

Applicants must take the oral examination given by the department/laboratory of their first preference.

If it is judged that an applicant needs to take an additional oral examination given by the department/laboratory of his/her second preference, the second examination will start at 15:00 on the same day. The list of applicants who must take the additional examination will be posted on Graduate School of Bioagricultural Science website: <https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/> around 14:00.

### 10. Announcement of final examination results

(1) Time/Date: around 10:00 a.m. (JST), January 10

(2) Place: Graduate School of Bioagricultural Science website: <https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/>

NOTE: Successful applicants will also be notified by mail.

## 11. Enrollment Procedures

- (1) Detailed enrollment procedures will be notified by mail early in March 2023.
- (2) Registration fee: 282,000 JPY (expected)
- (3) Tuition: 267,900 JPY per semester (535,800 JPY per year) (expected)

NOTE: In case of any revision in tuition, the new rate will be made effective on and after the date of revision.

- (4) Registration date: The matriculation date is scheduled to be on March 22 and 23, 2023.

## 12. Notes

- (1) Applicants cannot make any changes or ask for a refund after submitting the application form.
- (2) Further notifications for the examination will be given on the notice board on the date of examination. Examinees must be seated in the examination room 20 minutes before the examination starts.

- (3) For applicants with disabilities or other special needs

Applicants with disabilities or other special needs that require reasonable accommodations and adjustments for taking the entrance examinations due to their disabilities or other special needs should submit the following documents to the Student Affairs Section, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University by October 28, 2022.

- 1) Application form for reasonable accommodations or adjustments: On A4 size paper in the format of your choice, please provide information regarding the condition of your disabilities or other special needs, which specific accommodations and adjustments are required for you to take the entrance exam and why they are necessary.

- 2) Medical certificate, any certificates of your disability (e.g., “Shogaisya-techo” in Japan), etc.: Applicants must submit Medical Certificates or other alternative documentation that provides detailed information regarding the limitation on a major life activities caused by the disabilities or other special needs, and provides sufficient justification for the requested accommodations or adjustments. (Copies acceptable)

- 3) Third Party Statements: Applicants must obtain and submit statements from third parties that are familiar with the applicant's disabilities or special needs and can attest to the resulting limitation on a major life activities and required accommodations. (Observations and opinions from medical professionals, relevant faculty from the applicant's school, and other specialists)

- 4) Other Documents: Applicants may, if desired, submit additional documentation providing additional information regarding their disabilities or other special needs and the recommended accommodations or adjustments.

For inquiries regarding reasonable accommodations or adjustments for taking the entrance examination or while attending Nagoya University, please feel free to contact the Student Affairs Section, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University by the application deadline.

## 13. Others

For more information on the examinations, ask:

Student Affairs Section, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University

Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601

TEL: (052) 789-4967 (English) ,789-4299 (Japanese)

E-mail: [kyomu@agr.nagoya-u.ac.jp](mailto:kyomu@agr.nagoya-u.ac.jp)

<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp>



## Examination Subjects and Instructions for Subject Choice

Title of subject	The Contents of Subject and Instructions for Subject Choices
1 Applied Mathematics 2 Strength of Materials 3 Physical Chemistry 4 Organic Chemistry 5 Biological Chemistry 6 Genetics 7 Microbiology 8 Cell Biology 9 Plant Physiology 10 Animal Physiology 11 Animal Morphology 12 Insect Science 13 Ecology 14 Hydrology 15 Soil Science 16 Forest Resources Management 17 Biomass Sciences 18 Natural Polymer Chemistry 19 Plant Production Sciences 20 Animal Production Sciences 21 Fish Biology 22 Plant Protection 23 Food Economics 24 International Agricultural Sciences	<p>Visit the homepage of Graduate School of Bioagricultural Sciences  <a href="https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/">(https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/)</a></p> <p>Select any two subjects from No.1 to 24.</p> <p>Applicants who major in “Organic Chemistry”, “Bioactive Molecules”, “Food and Biodynamics” and “Polymer Chemistry” (Applied Biosciences) are recommended to select two subjects from Nos. 3,4,5,7 and 18.</p>

- Applicants must describe subjects chosen in the Nagoya University Graduate School Application Form/ Photograph Card.
- You cannot change subjects that you have described in the application form.

## 2022 年度 博士前期課程外国人留学生入学試験実施状況

Admission Data (International Students) for the Master's Program of Academic Year 2022

専攻 Department	志願者数 Number of Applicants	受験者数 Number of Examinees	合格者数 Number of Successful Applicants
森林・環境資源科学専攻 Forest and Environmental Resources Sciences	3	3	3
植物生産科学専攻 Plant Production Sciences	4	4	3
動物科学専攻 Animal Sciences	1	1	1
応用生命科学専攻 Applied Biosciences	2	2	1
計 Total	10	10	8

### 【卓越大学院プログラムについて】

卓越大学院プログラムは、文部科学省が 2018 年に導入した 5 年一貫の博士課程プログラムです。大学院生が研究と多様な能力の開発に打ち込めるようにするため、特別な経済的支援が用意され、さらに、TA や RA を通して指導能力を学び、追加の収入が得られるような仕組みが用意されています。生命農学研究科では、以下のプログラムに参画しています。

#### トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム (GTR)

応用生命科学専攻、植物生産科学専攻、森林・環境資源科学専攻、動物科学専攻は2018年度より本プログラムに参画しています。

詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.itbm.nagoya-u.ac.jp/gtr/>

#### 情報・生命医科学コンボリューション on グローカルアライアンス卓越大学院 (CIBoG)

応用生命科学専攻は2019年度より本プログラムに参画しています。

詳細は以下のHPをご覧ください。

<https://cibog.med.nagoya-u.ac.jp>

**The WISE Program (Doctoral Program for World-leading Innovative & Smart Education)** is an integrated five-year program introduced by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology in 2018. Special financial support has been put in place to support graduate students as they go about their research activities and develop a diverse range of skills. Systems have also been developed to help students acquire teaching skills and obtain additional income through the TA and RA programs. Graduate School of Bioagricultural Sciences has been involved in the following programs.

#### Graduate Program of Transformative Chem-Bio Research (GTR)

Department of Forest and Environmental Resources Sciences, Plant Production Sciences, Animal Sciences, and Applied Biosciences have been involved in this program since 2018.

For more details, please see the following website:

<http://www.itbm.nagoya-u.ac.jp/gtr/en/>

#### Convolution of Informatics and Biomedical Sciences on Glocal Alliances, CIBoG

Department of Applied Biosciences has been involved in this program since 2019.

For more details, please see the following website:

<https://cibog.med.nagoya-u.ac.jp/en>

## Laboratories, Areas of Research, and Staff

Department	Laboratory	Area of Research	Research Key Words	Staff			
				Professor	Associate Professor	Lecturer	Assistant Professor
1. Forest and Environmental Resources Sciences	1. Resources Cycling in Pedosphere	Cycles of carbon, nitrogen, and trace elements in pedosphere and related environments. Chemical structure, function, and dynamics of soil organic matter, in particular humic substances.	Soil organic matter, humic substances, black carbon, greenhouse gas, dissolved organic matter	WATANABE, Akira			SEKI, Mayuko***
	2. Plant-Soil Systems	Studies on nutrient dynamics in forest ecosystems. Our specific focus is to evaluate forest health by disentangling tripartite interactions among plant, soil, and microbes.	biogeochemistry, coastal forests, forest soil science, Ground penetrating radar, plantation forests		TANIKAWA, Toko		
	3. Forest Hydrology and Disaster Mitigation Science	Research for elucidating hydrological cycle, sediment dynamics, and disaster vulnerability of local community in regional and watershed scales. Research and its social implementation for sustainable resources management is included.	hydrological processes in watersheds, biosphere-atmosphere interaction, human-nature interaction, disaster resilience and sediment dynamics	GOMI, Takashi	TANAKA, Takafumi		KOTANI, Ayumi
	4. Forest Ecology	Our laboratory covers a wide range of studies related to forest ecology, forest genetics, and forest ecophysiology. Especially structure, dynamics and functions in forest communities. Also genetic diversity, reproduction, ecophysiology, dry matter production and balance as well as theoretical modeling in tree populations.	Forest tree, Reproductive ecology, Population genomics, Molecular ecology, Conservation, Tropical forest	TOMARU, Nobuhiro	NAKAGAWA, Michiko	OGAWA, Kazuharu	
	5. Forest Protection	Forest entomology focusing on insect-fungus and insect-plant interactions. Forest ecosystem conservation based on the management of biological communities.	Forest insects, Interactions among organisms, Forest pests, Arthropod communities, Forest microbes, Symbiosis		KAJIMURA, Hisashi	TOKI, Wataru	
	6. Forest Resource Management	Research on development of cutting edge measurement technology of forest, construction of theory concerning forest resource management, development of future planning and evaluation method of forest management.	Remote Sensing, GIS, Forest planning, Forest measurement, LiDAR	YAMAMOTO, Kazukiyo			
	7. Forest Resources and Society	Studies on forest management policy for realizing both forest conservation and improvement of local livelihoods, forest certification, participatory forest management, community forestry and timber procurement strategies of enterprise	Forest policy, National park, Community forestry, Ecotourism, Forest resource use	HARADA, Kazuhiro	IWANAGA, Seiji		
	8. Forest Chemistry	Organic chemical, biochemical, and analytical chemical studies on the formation process, structure, and advanced utilization of woody biomass.	woody biomass, plant cell wall, lignin, chemistry, TOF-SIMS	FUKUSHIMA, Kazuhiko		AOKI, Dan	
	9. Biomass Resource Utilization	Isolation and structural elucidation, biosynthesis, distribution and utilization of wood extractives.	Wood extractives, Isolation and structural elucidation, Biosynthesis, Visualization, Chemical analysis		IMAI, Takanori		
	10. Wood Physics	Generation processes of growth stress and wood properties during tree growth, Growth and maturation of tropical plantation species, Analysis of reaction wood formation by molecular approach, Physical and mechanical properties of wood materials.	Cell wall, cellulose, secondary growth, growth stress, plantation resources	YAMAMOTO, Hiroyuki	YOSHIDA, Masato		
	11. Timber Engineering	Mechanical durability in structural use of wood and wood-based materials, Analysis of mechanical behavior in timber structure, Quality-of-material distribution and the plan for demand and supply of forest resources, Wood utilization in urban design.	Timber engineering, Strength, Failure and fatigue, Wood utilization, Woodurbanism	YAMASAKI, Mariko			ANDO, Kosei
	12. System Engineering for Biology	Studies on nondestructive measurement system and data science for biological resources.	Nondestructive measurement, Spectroscopy, Imaging analysis, Data science, Machine learning, Mechanical engineering	TSUCHIKAWA, Satoru	INAGAKI, Tetsuya		

\*\*\* Designated Assistant Professor

(as of October 1, 2022)

## Laboratories, Areas of Research, and Staff

Department	Laboratory	Area of Research	Research Key Words	Staff			
				Professor	Associate Professor	Lecturer	Assistant Professor
2. Plant Production Sciences	13. Plant Physiology and Morphology	Studies from both aspects of structure and function on functional differentiation of plant cells and tissues, and response and tolerance to environmental stresses.	C4 plant, Chloroplast, Electron microscope, Environmental stress, Rice, Salinity, Stress tolerance, Ultrastructure	TANIGUCHI, Mitsutaka	MITSUYA, Shiro		OI, Takao
	14. Plant Genetics and Breeding	Breeding, molecular genetical, molecular biological, and physiological researches related to the evolution, morphogenesis, development, and environmental stress tolerance of cultivated plant species.	Crop plants (rice, maize, wheat and soybean), Abiotic stress tolerance, Flooding, Root, Molecular genetics	NAKAZONO, Mikio	TAKAHASHI, Hirokazu		
	15. Crop Science	Physiological and ecological studies on crop production: nutrient acquisition and growth response to environment.	Crop productivity, Environmental stress, Nutrient acquisition, Sink-source relationship, Symbiosis	KONDO, Motohiko	YANO, Katsuya	SUGIURA, Daisuke	
	16. Horticultural Science	Physiological, biochemical and molecular biological approach to the mechanism of flower formation, flower opening and fruit set, growth of horticultural crops to improve their productivity.	Horticultural crops, Genome editing, Molecular breeding, Epigenetics, Omics study	MATSUMOTO, Shogo (Scheduled to retire in March 2023)	SHIRATAKE, Katsuhiko		
	17. Plant Pathology	Physiological, biochemical and molecular-biological researches on defense mechanisms of plants against plant pathogens, and interactions of plant pathogens and beneficial environmental microorganisms with host plants. Development of biocontrol measures and understanding of its mechanisms.	Plant disease resistance, Elicitor, Plant-associated microbes, Plant and Fungal viruses, Biological control		TAKEMOTO, Daigo CHIBA, Soutaro		SATO, Ikuo
	18. Plant Immunology	Studies on the molecular mechanisms of plant immune response in plant-pathogen interactions. Development of a plant vaccine based on the mechanisms.	NADPH oxidase, ROS burst, MAP kinase, Plant immunity, Plant pathology		YOSHIOKA, Hirofumi		
	19. Information Sciences in Agricultural Lands	Studies to improve agricultural production by analyzing information from field (crop DNA sequences, morphology, physiological characteristics, yield, soil, environment, etc.) by means of informatics/ data science	Agricultural informatics, Soil and rhizosphere microbiome, Genetic diversity, Breeding, Field informatics	MURASE, Jun	DOI, Kazuyuki		NISHIUCHI, Shunsaku SAWADA, Koze***
	20. Food Economics	Socioeconomic studies on food system, regional resource management and multifunctional roles of agriculture.	Agricultural Economics, Farm Management, Rural Resource Management, Food System	TOKUDA, Hiromi	TAKESHITA, Hironobu		MIURA, Satoshi
	21. Plant Gene Function	Studies on plant gene function and its application.	Rice, Stem elongation, Water tolerance, Molecular breeding	ASHIKARI, Motoyuki			NAGAI, Keisuke
	22. Developmental and Systems Plant Biology	Studies on genomic information for development of useful traits of rice and creation of novel plant regulators.	Rice, QTL, GWAS, GA, Structural biology	TSUJI, Hiroyuki	YAMAUCHI, Takaki		
	23. Plant Genomics and Breeding	Study on plant genomics and breeding to solve various problems of modern society, i.e. environment, energy, food problems, etc.	sorghum, energy crop, QTL, GWAS, heterosis	SAZUKA, Takashi			OKADA, Satoshi
	24. Bioindustry	Studies on plant grafting and systemic signaling in plants to improve plant resources for future sustainability.	Grafting, long distance signaling in plants, micro devices for plant science, GA, Structural biology	UEGUCHI, Miyako (Scheduled to retire in March 2023)	NOTAGUCHI, Michitaka	KUROTANI, Kenichi**	
	25. Tropical Bioresources	Screening of tropical plant resources and their utilization for environmentally friendly agriculture responding to diversification of food demand and climate change.	Crops (Sago palm, Rice, Cowpea), Cultivation technique, Environmental stress,	EHARA, Hiroshi			NAKATA, Mana
	26. Genetic Information for Bioresources	Studies on genetic information for useful traits of bioresources to aim utilization and application of regional resources and sustainable development through environmental conservation.	Genetics, Breeding, Rice, Abiotic stress, Stress avoidance	INUKAI, Yoshiaki			
	27. Practical Studies in Africa	Development of sustainable and appropriate technology for agricultural and forestry production, acclimation and dissemination of new resources and technologies, and social implementation based on research results in Africa	Africa, Crop, Cultivation management, Practical study, Rice		MAKIHARA, Daigo		
28. Practical Studies in Asia	Studies on agriculture and rural development including natural resources management in Asia for better livelihoods, poverty reduction and food security.	International Cooperation Official Development Assistance Agricultural and rural development		ITO, Kasumi			
29. Plant Epigenetics	Epigenetic analysis of abiotic stress tolerance in rice	Rice, epigenetics, abiotic stress, histone modification		CARTAGENA, Joyce Abad			

\*\*Designated Lecturer

\*\*\* Designated Assistant Professor

(as of October 1, 2022)

## Laboratories, Areas of Research, and Staff

Department	Laboratory	Area of Research	Research Key Words	Staff			
				Professor	Associate Professor	Lecturer	Assistant Professor
3. Animal Sciences	30. Animal Genetics and Breeding	Studies on the genetic basis of qualitative and quantitative traits in mammals and birds; evolutionary genetics research of animals using genetic engineering such as genome editing; evaluation, conservation and utilization of animal genetic resources; and development of new laboratory animal models for human disease and biological functions.	qualitative (Mendelian) traits, quantitative traits, evolutionary genetics, developmental animal genetic engineering, livestock resources, poultry, laboratory animal models	SUMIYAMA, Kenta	ISHIKAWA, Akira		YAMAGATA, Takahiro
	31. Genome and Epigenome Dynamics	Epigenetic regulatory systems for transposons and genes in vertebrates. Epigenome regulation during germ cell development. Genome-epigenome interactions during evolution. Mechanism of cancer cell growth inhibition by activation of transposons.	Epigenetics, Germ Cells, iPS cells, Transposable elements, Transgenerational Inheritance, Diabetes, Cancer	ICHIYANAGI Kenji			OHTANI, Hitoshi
	32. Animal Morphology	Formation and deformation of the traits in vertebrates. Viral endogenization and the roles of the viral-derived element in vertebrates. Transgenerational epigenetic inheritance (TEI).	morphology, molecular genetics, reproductive system, Vertebrates	HONDO, Eiichi			IIDA, Atsuo
	33. Animal Integrative Physiology	Understanding the regulatory mechanisms of circadian and seasonal rhythms in vertebrates. Development of transformative bio-molecules that improve animal production and human health. Studies on physiological regulation of gene expression and release of growth factors in birds.	Seasonal Rhythm, Circadian Rhythm, Growth Hormone, Comparative Biology, Chemical Biology	YOSHIMURA, Takashi	OHKAWA, Taeko	KON, Naohiro**	TSUKADA, Akira NAKAYAMA, Tomoya*** CHEN, Junfeng***
	34. Animal Reproduction	Basic studies on the neuroendocrinological mechanism regulating animal reproduction and its application to animal production and drug discovery.	Gonadotropins, GnRH, Kisspeptin, Gonads, Brain, Neuroendocrinology	TSUKAMURA, Hiroko	UENOYAMA, Yoshihisa INOUE, Naoko		
	35. Animal Nutrition	Analysis of the nutritional factors and environmental factors for metabolic diseases (dyslipidemia and fatty liver etc.) in mammalian and avian species. Analysis of the uptake mechanism of biomolecules into avian eggs and its application to production of valuable protein.	Nutritional factors, Animal disease model, Metabolic diseases, Fatty liver, Egg production	MURAI, Atsushi			
	36. Animal Production Science	Studies on regulatory mechanism of physiological functions in ruminants and its utilization for animal production.	Reproduction, GnRH, Uterine function, Ovarian activity, Heat stress	OHKURA, Satoshi	MATSUYAMA, Shuichi NAKAMURA, Sho*		
	37. Avian Bioscience	Functional genomics-based identification of genes that control useful phenotypes of birds. Production of genetically manipulated birds for model animals and industrial use.	Animal model, Genetic resource, Biopharmaceutical production	NISHIJIMA, Ken-ichi			OKUZAKI, Yuya
	38. Fish Biology	Morphological, physiological, and behavioral studies of the brain, sensory receptors, motor systems, and peptidergic neurons in aquatic animals.	fish, nervous system, sensorimotor circuit, peptidergic neurons, behavior	YAMAMOTO, Naoyuki	ABE, Hideki		GOTO, Maki HAGIO, Hanako***
	39. Sericulture and Entomoresources	Molecular mechanisms of baculovirus infection, baculovirus-host interaction and antiviral responses in insects.	Insect pathology, Baculovirus infection, Antiviral response, Host range determination	IKEDA, Motoko			HAMAJIMA, Rina
40. Applied Entomology	Studies on the development of insect pest management methodology via physiological and molecular approaches.	Insect hormone and pest management				MINAKUCHI, Chieka	

\* Designated Associate Professor

\*\* Designated Lecturer

\*\*\* Designated Assistant Professor

(as of October 1, 2022)

## Laboratories, Areas of Research, and Staff

Department	Laboratory	Area of Research	Research Key Words	Staff			
				Professor	Associate Professor	Lecturer	Assistant Professor
4. Applied Biosciences	41. Organic Chemistry	Bioorganic studies on naturally occurring organic molecules possessing novel structure and biological activity; development of new synthetic methodologies, total synthesis of natural products, elucidation and control of the biofunctions.	organic synthesis, natural products, chemical biology, molecular design	NISHIKAWA, Toshio			MIYASAKA, Tadachika
	42. Bioactive Molecules	Studies on identification, action mechanism, biosynthesis and receptor of bioactive natural products (hormones, antibiotics, etc.) produced by plants, microorganisms, and marine organisms.	natural products, hormones, antibiotics, carbohydrates, peptides	OJIKAWA, Makoto (Scheduled to retire in March 2023)	NAKAGAWA, Yu	KONDO, Tatsuhiko	
	43. Chemical Biology of Natural Products	Isolation, structure determination, synthesis, biosynthesis, and modes of action of bioactive natural products that regulate biologically and physiologically intriguing phenomena. Anesthetic substances from venomous mammals, and key substances for marine symbiotic relationships. Development of new analytical methods for target molecules using fluorescent probes.	natural products, chemical biology, chemical probe, mode of action, toxins, symbiosis	KITA, Masaki	TSUNEMATSU, Yuta		
	44. Polymer Chemistry	Studies on controlled syntheses and functions of biomaterials and medical polymers including artificial glycoconjugates, biofunctional polymers and environmentally friendly synthetic polymers.	Biomaterials, Biopolymers, Functional Polymers, Polymer Synthesis, Organic Synthesis	AOI, Keigo	NOMURA, Nobuyoshi		
	45. Food and Biodynamics	Chemical biology of electrophilic ligands, such as lipid peroxidation products and functional food molecules.	Oxidative stress, Covalent modification of proteins, Functional foods, Lifestyle-related diseases, Extracellular vesicles	SHIBATA, Takahiro			NAKASHIMA, Fumie HATTORI, Hiroyuki***
	46. Applied Enzymology	Mechanistic enzymology of flavin and pyridoxal enzymes. Physiological function of isoprenoid and amino acids. Microbial and enzymatic production of useful substances. Lipid biosynthesis in Archaea.	enzyme, isoprenoid, archaea, D-amino acid, pyridoxal phosphate	HEMMI, Hisashi		ITO, Tomokazu	
	47. Molecular Biotechnology	Molecular bioengineering for novel biomolecules, bioprocesses and analytical processes. Currently, novel monoclonal antibody screening, single molecule technology for protein engineering, and the mechanism of translation-enhancing peptide are major research topics.	Bioinformatics, Enzyme engineering, Protein Engineering, Antibody Engineering, Next Generation Sequencing, High-throughput Screening	NAKANO, Hideo		DAMNJANOVIC, Jasmina	KATO, Teruyo
	48. Molecular and Cellular Regulation	Biochemical and molecular cell biological studies on signal transduction, intracellular traffic, gene expression regulation in animal cell differentiation, growth and cell death.	Ca <sup>2+</sup> -binding proteins, Cell death, Cell growth, Membrane traffic, Molecular interactions		SHIBATA, Hideki	TAKAHARA, Terunao	
	49. Molecular Bioregulation	Biochemistry and molecular cell biology on the biosynthesis and dynamics of proteins, nucleic acids and their complexes in mammals, and on the functions and regulations of these molecules in living organisms, including cell proliferation and tissue differentiation. Specifically, we are studying mammary gland development and milk synthesis, translational control including ribosomes, and the epithelial responses to bioactive factors.	Mammary gland, Milk, Ribosome, Epithelial cell		NADANO, Daita		OHSHIMA, Kenji
	50. Glyco-Life Science	Interdisciplinary studies between bioagricultural, medicinal, and pharmaceutical sciences on regulatory mechanisms for glycans-involved phenomena to attain better health, environment, and food	Glycocalyx, glycans, glycosyltransferase, glycosidase, immune system, neural system	SATO, Chihiro			HANE, Masaya
	51. Animal Cell Function	Studies on impacts of metabolic changes of glycans in proteins and lipids at the organism level, using medaka models and their integrated omics including glycomics.	Glycobiology, Sialic acid metabolism, Membrane microdomain, Reverse genetics of Medaka, Glycomics, Glycoproteomics	KITAJIMA, Ken			WU, Di
	52. Animal Cell Physiology	Studies on functions of extracellular matrix, transporter proteins, and signal transduction.	Bone, Heart, Molecular Biology, Electrophysiology, Imaging		MATURANA, Andrés Daniel	NIIMI, Tomoaki	
	53. Nutritional Biochemistry	Nutritional regulation of enzyme and gene expression in mammals. Molecular mechanisms for hepatocyte differentiation in 3-dimensional culture systems. Physiological significance of liver circadian rhythm. Metabolism and physiological functions of branched-chain amino acids.	Gene expression, Liver clock, Branched-chain amino acids (BCAA), Muscle		ODA, Hiroaki	KITAJIMA, Yasuyuki	
	54. Soil Biology and Chemistry	Studies on the microbial population, and the chemical and biological processes occurring in the paddy field ecosystem.	Agricultural land, Biogeochemical cycles, Microbial ecology, Microbial physiology, Microbial taxonomy	ASAKAWA, Susumu		WATANABE, Takeshi	SHINJO, Rina***
	55. Applied Microbiology	Molecular and chemical genetic studies on gene regulation of agriculturally and industrially important microorganisms, especially filamentous fungi.	Filamentous fungi, Food microbiology, Polysaccharide-degrading enzymes, Transcriptional regulation, Secondary metabolites	KIMURA, Makoto			MAEDA, Kazuyuki
	56. Plant Signaling	Studies on molecular mechanisms underlying optimization of plant growth and development in response to environmental cues with focusing on phytohormone function.	Nutritional response, Plant hormones, Growth regulation, Nitrogen, Iron	SAKAKIBARA, Hitoshi	KIBA Takatoshi	TABATA, Ryo** HASHIMOTO-SUGIMOTO, Mimi	
	57. Biochemistry	Biochemical, molecular genetic, and microscopic studies on regulatory mechanisms of development of plant organs such as flowers, pollen grains, and roots. Studies on molecular functions and regulation of membrane proteins that support photosynthesis and inorganic nutrient assimilation in plants and cyanobacteria.	Flower development and anthesis, Pollen morphology, Meristem organization, Jasmonic acid, Transcription factors, Membrane transporter		ISHIGURO, Sumie		MAEO, Kenichiro MAEDA, Shin-ichi NAKANISHI, Yoichi
	58. Molecular and Functional Genomics	Biochemical, cellular and genetic studies on molecular mechanisms of chlorophyll biosynthesis, nitrogen fixation, circadian rhythm and phytochrome signal transduction in cyanobacteria and plants.	Cyanobacteria, Chlorophyll biosynthesis, Nitrogen fixation, Plants, Circadian clock, Plant hormones	FUJITA, Yuichi	YAMASHINO, Takafumi		YAMAMOTO, Haruki

## Laboratories, Areas of Research, and Staff

Department	Laboratory	Area of Research	Research Key Words	Staff			
				Professor	Associate Professor	Lecturer	Assistant Professor
	59. Developmental Signaling Biology	Studies on regulatory mechanisms of biochemical and molecular processes involved in the growth and development of higher plants.	ethylene biosynthesis, apical dominance, parthenocopy, protein mass spectrometry	MORI, Hitoshi (Scheduled to retire in March 2023)			
	60. Plant Cell Function	Molecular mechanisms of plant growth and development, and their regulation in response to environmental signals. Studies on membraneless organelles in plant cells.	meristem, endosperm, stress, seed dormancy, jasmonic acid, membraneless organelles		UEGUCHI, Chiharu TAKEDA, Shin		
	61. Plant Integrative Physiology	Understanding plant circadian rhythms and seasonal behaviors with multi-omics approaches. Improvement of plant biomass and productivity by controlling key genes for circadian and seasonal behaviors.	Plant circadian clock, Transcriptional network, Bioactive small molecules.	NAKAMICHI, Norihito			

\*\*Designated Lecturer

\*\*\*Designated Assistant Professor

(as of October 1, 2022)